

令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.8.28(水)

事業コード	24-G-05	学校名	恵那市立恵那北・飯地・中野方小学校	住所	恵那市長島町久須見177番地1
実施日	7月10日(水)9:35~11:50			受講児童生徒数	56名(5年生25名/6年生32名)
開講職種数	4職種	指導者数	8名	参観保護者数	13名

学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となりましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

・今、好きなことや得意なこと、興味関心のあるものを将来の仕事に生かせるのであれば、こんなに素敵なことはありませんが、興味関心がなくても経験してみることによって、おもしろさや楽しさに気付くことがあり、小中高でのこのような体験を重視したキャリア教育を進めていくことの大切さを改めて感じています。(恵那北小学校)
・職業にどんなものがあるか知る機会が少ないと思います。また、児童に関わる大人が地域の大人なので、それ以外のことを想像するのも難しいのではないかと感じています。(飯地小学校)
・技能者の職業を知る機会があまりないことが課題だと感じています。今回のような場があることで、いろいろな職業選択ができるようになるので大切だと感じました。(中野方小学校)

会場担当教員アンケートの結果（4会場の先生）

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった

→ 4

②ある程度伝わった

→

③あまり伝わらなかった

→

④全く伝わらなかった

→

2 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

→

・興味があってもなくてもまずは出会わせ、体験させることでその仕事の魅力を感じることができると思うので、今回のような体験学習は貴重だと感じている。(寝具製作会場)
・専門的な職業を学ぶ機会は、あまり多くありません。専門家の方にお話を聞いたり、実際に体験したりする機会があるので、技能者を目指すきっかけの第一歩になるため重要だと思います。(左官会場)
・職業を知らない。経験できる場が少ない。(畳製作会場)
・ものづくりの体験を通して、美濃和紙の良さや、体験の楽しさを感じられたと思う。将来の夢が決まっていないうちの子が多いため、まずは伝統的なものに興味を持つことが大切だと感じた。(内装仕上げ施工会場)

指導者アンケートの結果（4職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった

③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった

④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

3

1

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・仕事の内容が、子供達により身近で役立つモノづくりであれば理解して、興味が出るかもしれないので、この事業を継続する必要があり、それによって子供達の職業選択肢が広がると思います。(寝具製作職種)
・実際は左官の人材育成は難しい話です。一人前になるのに時間がかかることもあると思います。少し感じたのは、もう少しマイスターや指導員の塗る所を見てもらうのも良いのかと思いました。声を出してすごい綺麗だと言ったので、塗りという作業を感じてもらえるかと思いました。(左官職種)
・ものづくり体験授業を学校ですることとはとても良いことだと思います。畳のことを分からない大人も多い中、畳に接することの少ない子供たちは、イベント等でミニ畳づくりを真剣に行っています。時間潰し程度の大人とは全く違い、知らないことを知ろうとする真剣な眼差しや姿勢には、私たちも何かを期待したいと思うほどです。職人を目指そうと思う子供たちが出てくるきっかけになるよう、この事業が続くことを期待しています。(畳製作職種)
・近年の体験授業で感じることは、児童が非常に興味を示してくれていると思います。内装の歴史を紐解くところの関心の高さ、作業体験では、一つ一つ工程を進める中、徐々にコツをつかみ完成に至った時の感動が得られています。小学生のうちからより多くの「知る機会」があればより関心を示してくれると思います。技能士という職業を正しく理解してもらうことが人材確保・事業継続に繋がっていくことでしょう。(内装仕上げ施工職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

		寝具製作	左官	畳製作	内装仕上げ施工	
指導者数		1	3	2	2	
受講児童生徒数		13	16	13	15	
回答	とても満足した	12	15	10	11	
	ある程度満足した	1	1	3	4	
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	
	満足できなかった	0	0	0	0	
	合計	13	16	13	15	

		合計(左:人 右:%)	
指導者数			8
受講児童生徒数			57
回答	とても満足した		48 84.2
	ある程度満足した		9 15.8
	あまり満足できなかった		0 0.0
	満足できなかった		0 0.0
	合計		57 100

寝具製作会場の様子



先生の感想

職業講話

・有名な講師の方で、紹介や仕事の話にも子どもたちは興味をもって聞くことができた。
 ・講師の方は、初めは今の仕事を目指そうと思ったことはなく、あるとき物を使っていたときの気持ちを考え、ものづくりの仕事を目指そうと思ったという話から、人の役に立つことの大切さを学んだ。

製作実演・体験教室

・難しい工程の時には、細かく区切りながら教えていただき、どの児童にも目を配り、サポートをしてくださったので、全員が座布団を完成させることができた。
 ・児童たちは、自分で作った座布団に座って使っていくというところに、とても達成感をもっていただけたと感じる。

児童生徒の感想

・僕のイメージでは簡単なイメージだったけど、いざやってみると色々ちぎったり折ったりして難しかった。でも上手く作れて良かった。
 ・習ったことを思い出して家でも作ってみたいと思った。
 ・去年も、同じ職種に参加したけど、今回の方が上手にできたし、自分で作る時は今日やったことを生かして作りたい。
 ・綿を切るのが楽しかった。またもう1回作ってみたい。
 ・世界の中でもすごい人に教えてもらって、とても嬉しかった。綿を詰めるのが難しかったけど、先生が手伝ってくれたので良いものができた。
 ・モフモフの座布団ができて嬉しかったし、寝具製作は大変なことも知ることができた。

左官会場の様子



先生の感想

- ・児童が左官を身近に感じることができるよう、泥だんごやこて絵など左官によって完成した例をたくさんあげてくださった。左官に目を向けたことがあまりない児童にも分かりやすく、興味をもって聞く様子があった。
- ・壁塗りは思った以上に難しく、思うように塗れない場面があったが、どれだけ練習が大切なのかを学ぶことができた。講話の中でも、一度身に付けた技術は「一生もの」という話があったが本当にその通りだと感じた。
- ・手本の壁塗りと自分が作ったものを比べ、その技術の高さに憧れを抱く様子があった。
- ・具体的な例や動画など分かりやすく興味を引き付けるお話で、児童が最後まで集中して聞く様子があった。
- ・実際の壁塗りの手本を見てから体験をしたので、練習の大切さや職人の方のすごさを実感することができたと思う。壁塗りを体験できる場は少ないので、実際にできて更にものづくりに興味をもったと思う。

児童生徒の感想

- ・左官という言葉は知っていたけど、内容はあまり知らなかったの、左官のことがよく分かって嬉しかった。先生達による実演が上手で、プロはすごいと思った。
- ・壁塗りは初めてやったので難しかったけど、楽しくほとんど塗ることができたので嬉しかった。コースター作りもタイルがきれいに作れたので良かった。
- ・壁塗りが印象に残っている。見た目は簡単そうだったけど、やってみるとすごく難しかったので、枠全面を塗ることができなくて悔しかった。時間が足りなくて出来なかったの、もう少しやりたかった。
- ・壁塗りの力加減や、コテの角度が難しかった。
- ・左官の訓練校のビデオを見て、1時間に20回壁を塗ることは私には絶対できないので、左官の人はすごいと思った。
- ・思っていたより力が必要で、平らで綺麗に塗ることが難しく大変だったけど、塗り終わったあとに達成感を感じられました。
- ・4,000人に1人が左官になっていると聞いて、もっと多いかと思っていた。
- ・左官の職業に就くには、センスや体力が必要なことを初めて知った。また、壁塗りの実演の時、やっぱり職人の人はすごいと思った。
- ・壁塗りのときに職人の方に手伝ってもらえて嬉しかったことが印象に残っている。

畳製作会場の様子



先生の感想

・知らない職業、事柄について教えてもらうことができた。特にい草についての話題が初めて聞いたことのように、い草はとて大きくなること、田んぼと同じような場所で冬に作ることに知って驚いていた。また、畳のにおい(い草と泥のにおい)で集中力が高まり、勉強がよくなるよくなるという話を聞いて、児童も保護者も「畳の部屋で勉強したい。」ということを書いてくれた。教室も畳にしてほしいと思った。

・畳製作で、材料を自由に選べたことが本当によかった。畳の種類も、へりもたくさんあり、「どれにしよう。」「これもいいな。」と悩む姿から、自分だけの畳作りを楽しんでいることがよく伝わってきた。畳製作については児童だけでなく保護者の方もたいへん喜んでくれた。職人の方が気さくに声をかけてくださり、安心して製作することができた。保護者も製作中に職人の方に質問するなど、参加者全員が集中して楽しんで取り組むことができた。

児童生徒の感想

・簡単に作れると思ったら、意外に難しかった。

・い草の匂いがすごく良かった。今回はミニ畳だったので畳が小さかったけど、畳が大きいときは大変だなと思った。

・知らないことをたくさん教えてもらった。畳は温度・湿度の調節などをできるということを知れて良かった。家に帰ったらすぐに家族に話したい。

・畳製作は自分が気に入るものが作れて良かった。大きいタッカーを打つときに音が大きくてビックリした。い草でできた畳は良い匂いでした。

・畳は、へりの部分と畳表の色や柄を選ぶ時、その人の性格などが出ていて、とても面白かった。

・畳を手で縫うのがとても難しく、力のいる作業だったけど、もっと大きな畳で職人の方はやっているということがすごいと思った。

・い草が少なくなっていることや、熊本県でたくさんい草を作っているということが印象に残った。

内装仕上げ施工会場の様子



先生の感想

【職業講話】

仕事に就いても、技術を向上するために技能訓練や資格取得に努めているという話が印象的でした。今の状態に満足されず、さらに高みを目指す志が素敵だと感じました。

内装仕上げの先生が「苦勞することや大変なことはあるけれど、お客さんに喜んでもらえたり、壁紙をきれいに貼れて達成感を感じたりすることが楽しい」とおっしゃっていました。この言葉が、子どもたちの心に残ったようで、ものづくりの仕事の良さを感じられたと思います。

【製作実演】

貼るまでは境目がはっきりと分かっていたのに、貼った瞬間に壁紙の境目が全く分からなくなり、私も子どもたちも本当に驚きました。正確な上に俊敏で、まさに職人技だなと思いました。壁紙をペラペラとめくり、残像で境目を確認されていました。パラパラ漫画など、身近にある残像がこのように内装仕上げに技として使われていることを知り、さらに体験したくなりました。

【体験活動】

分かりやすく、丁寧に教えてくださったので、安全に行うことができました。子どもたちは、和紙を微調整しながら、きれいに貼ろうと真剣なまなざしで取り組んでいました。世界に一つだけのブックエンドが完成し、どの子も満足そうな表情でした。

・資料、体験前の職業説明、職人による実演、すべて分かりやすく、興味を引くものばかりでした。

児童生徒の感想

- ・実際に壁貼りをやってくれて、模様が揃うと揃わないので全然違うんだな、と印象に残った。
- ・糊を塗る作業が楽しかった。ブックエンドは日常生活で使えるので嬉しい。
- ・和紙を使ってのブックエンド作りは難しかったけど、がんばって上手にできたので良かった。
- ・職人の方が壁紙を揃えて貼ると、どこが境目なのかが分からなくてすごかった。
- ・和紙を貼るときにずれてしまったりして難しかったけど、和紙がどんな性質なのかが分かって楽しかった。
- ・和紙を合わせて境目が分からないように柄をしっかりと揃えることは、私ではできないのでとてもすごいと思った。
- ・ブックエンドに和紙を貼る時、少しシワができてたりして大変だったけど、出来上がったときはまあまあきれいにできて嬉しかった。

